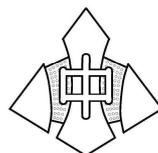


手をたずさえて

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年11月27日(金)発行

【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

新旧生徒会役員 頑張っています!!

新旧生徒会役員の生徒達が時を同じくして、それぞれの立場からイベントの実施と展示物の作成を行いました。このNo.36では新旧生徒会役員が、学校のためにそれぞれに頑張る姿を紹介します。



“生徒会からの挑戦状”

11月24日(火)から学力向上週間が始まりました。12月1日には数学、2日には英語、3日には国語の学習コンテストが全学年で実施されます。その準備期間としての学力向上週間です。それに併せて“生徒会からの挑戦状”と銘打って学力向上週間に弾みをつけるために、前生徒会役員の3年生5名がイベントを企画し実施しました。実はこのイベントは1学期に役員と私との話し合い“小原田中を語る会”の中での「コロナ禍の中、学校生活に活気と潤いを生み出してほしい」という呼びかけに対し、生徒達が考えていた企画でした。

まず11月24日の朝の時間は学級対抗二字熟語しりとりを行いました。「学力」に続く二字熟語を7分間に繋いで書いていく学級対抗のしりとりゲームでした。第2弾は帰りの学活の時間に一人一人プリントが配付され、5分間の脳トレ問題へのチャレンジでした。「大学生数学基本調査」からの出題で読解力が試される難問もありました。朝と帰りの合計点数を集計した結果、個の力と学級のチーム力を結集し見事第1位に輝いたのが71点の3年4組でした。ちなみに2位は3年2組66点、3位は3年1・3組、2年1組63点。1年のトップは1年3組の62点でした。3年4組には賞状が授与され、昼休みの体育館使用を貸し切る特典も与えられました。これを契機に学習コンテストに向けて頑張してほしいと思います。また、全校生が各教室にいても、同じひとつの事に一齐に取り組めたことに、様々な可能性を感じることができました。企画・運営にあたってくれた3年生5名の生徒に心から感謝します。



漢字しりとりと脳トレに挑む生徒達



集計作業をする役員及び表彰

“シトラスリボン”の展示物完成しました!!

過日、愛媛県の松前(まさき)中学校から届けられた“シトラスリボン”。

新生徒会役員の生徒達が感謝の気持ちを含めて、送られてきたお手紙やシトラスリボンを綺麗に装飾して展示物を作成し、生徒昇降口に配置しました。全校生には、展示されているシトラスリボンに込められた願い～感染症対策に気を緩めず取り組むとともに、新型コロナウイルスにかかわる偏見や差別、誹謗中傷を決してしないこと～をよく考えながら見てほしいと思います。これから礼状や写真などを松前中へ送ります。これからも松前中との温かな交流が続いていくことを願っています。

新生徒会役員の生徒達もいよいよ動き始めました。近日中に“小原田中を語る会”(役員と私との話し合い)を行う予定です。新生徒会役員の今後の活躍に期待します!



展示物作成に取り組んだ新役員



コロナ禍の中、様々な制限や制約があり、思いきった活動が十分にできなかった面もあったと思います。そんな中でも工夫しながら、できることにはチャレンジし、生徒会をリードしてくれた前生徒会役員の生徒達です。大きな拍手をおくりたいと思います。本当にご苦労さまでした。今後は自分の進路目標達成のために頑張ってください。5名の生徒達から新役員へのメッセージです。新役員の生徒達はこのバトンをしっかり受け取り、これからの小原田中生徒会を力強く牽引して行ってほしいと思います。

前生徒会役員から 新役員へのメッセージ



◆ 生徒会役員はイベントなどが近づくと、とても忙しくなり部活動に参加できない日が多くなってしまふことがあります。そのため生徒会の活動外の時間の使い方が非常に大切です。時間を有効に使って、どちらもおろそかにしないようにしましょう。

(吉田颯希)

◆ 僕は約2年間生徒会役員として活動してきました。僕も1年生の時は、先輩に頼ってばかりでほとんど一人で仕事をしたことがありませんでした。先輩方が卒業し何をやるにも最初は手探りでした。今、新生徒会役員の皆さんも分からないことや不安なことも多いと思います。しかし、これからは僕達がやってきたことを続けるとともに、皆さんが新しいことをやっていく番だと思ふます。この小原田中を皆さんの手でより良くして行ってください。頑張ってください。旧生徒会役員一同応援しています。(柳沼敦紀)

◆ 生徒会役員は全校生徒の代表であり、学校を活発にしていくように様々な仕事をします。プレッシャーを感じたり、不安になることもあると思ふます。自分に自信を持っていれば大丈夫です。生徒会役員みんな協力し、小原田中をさらにより良い学校にしてください。応援しています。(矢吹芽依)

◆ 生徒会は生徒を引っ張っていく立場です。なので、自分に自信を持ち、学校のため、生徒のために頑張ってください。また、新しいことを積極的に行い、学校をより良い場所にしてください。応援しています。

(佐藤 環)

◆ 新生徒会役員の皆さん、朝のあいさつや昼の放送などお疲れさまです。生徒会役員は小原田中の生徒の代表であり、模範生でもあります。つまり、生徒会の皆さんができないことは、全校生徒にはできないのです。逆に言えば、皆さんが実行すれば、全校生徒ができるようになると思ふます。だから、皆さんは生徒会の仕事ではもちろん、普段の学校生活や校外でも皆さんが“思い描く生徒像”を目指して頑張ってください。今までの伝統を引く継ぐのはもちろん、それ以外の新しい改革をしてより良い学校を作ってください。これからの皆さんの活躍を応援しています。頑張ってください!!

(村上喜歩子)

収穫の多い校外学習でした！ 美術部

11月21日(土)には、美術部の第2回校外学習が実施されました。郡山市立美術館に展示されている自分達の作品に学芸員の方からコメントをいただいたり、通常の来場者が入れないバックヤードを特別に見学させてもらったりするなど、多くの収穫がありました。部長の熊田さんの感想を紹介します。



今回私達は、郡山市立美術館へ校外学習に行きました。企画展、常設展、そして私達の作品が飾られている「風土記の空へ」を見てきました。企画展ではガラス工芸作品が展示されていました。見る角度によってところどころと表情を変える作品達は、ガラス工芸の知識のない私でも見入ってしまう美しさがありました。感じたことを部活動での作品制作に生かしていこうと思ふます。「風土記の空へ」では、自分で描いた作品でも額に入れられた状態で見ると全く別物のように見えました。約1ヶ月の間全力を注いで作った作品をその状態で見ると、達成感のような言葉で表せないほどの大きな感動を覚えました。制作途中くじけそうになる時もあったけれど、最後までやりとげることができて本当に良かったです。また、他校の生徒作品を見て、自分の知り得なかった表現技法を知ることができました。どの作品も作った人の想いをそのまま写し出しているようでした。私達美術部は、この校外学習を通して様々なことを学ぶことができました。100年以上前の先人達の芸術への想いは今でも受け継がれているのだと思ふます。コロナ禍の中、校外学習の実施を決めてくださった先生方、応援してくれる保護者の方々、お世話になった美術館の学芸員の方々、本当にありがとうございました。この経験を生かして、これからも部活動に励んでいきます。

(美術部部长 2年 熊田紅彩)